

令和7年度 事務事業マネジメントシート			段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					2820		配食サービス活用事業【介護保険】※一般会計分も含む				保健福祉部	地域包括ケア推進課
1 事業概要			中事業番号		428	1342	1329						所属コード	213200	
政策体系			SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	DX推進	手段	意図（目的）		
大綱（取組）	Ⅳ「誰もが地域で輝く未来」		1.3 2.2 3.8 10.2		5-2	○	○					委託事業者を通して、昼食の配達を行う。	対象者の安否確認を行いつつ、自立と生活の質の確保を図るとともに、栄養状態の改善を図る。		
施策	3 市民が互いに支えあい、一人ぼっちにならないまち														

事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
一人暮らしの高齢者の栄養改善と安否確認が求められることから、手渡しを原則とした配食サービスを開始した。		一人暮らしの高齢者や疾病により調理が出来ない高齢者が増加しており、安否確認と栄養改善が図られるサービスは、高齢者の在宅生活継続にかかせないものとなっている。		今後も高齢者人口や一人暮らしの高齢者の増加が見込まれ、ますます事業に対する需要の増加が見込まれる。		安否確認と、食事が確保され、栄養バランスが保たれることから、利用する高齢者や離れて暮らす家族に、おおむね好評である。	

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和 4 年度）		2023年度（令和 5 年度）		2024年度（令和 6 年度）		2025年度（令和 7 年度）		2026年度（令和 8 年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	6 5 歳以上の市民	人		87,657		88,324		88,742								
活動指標①	配食サービス活用事業による配食数	食	82,412	86,784	90,818	91,983	96,388	102,400	113,612		108,574		115,233	122,301		
活動指標②																
活動指標③																
成果指標①	配食サービス活用事業利用者	人	984	952	1,099	1,002	1,166	1,072	1,238		1,314		1,395	1,480	822	1,238
成果指標②																
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	配食サービス利用者1人あたりのコスト	千円		45		46		48	44		44		44	44		
単位コスト（所要一般財源から算出）	配食サービス利用者1人あたりのコスト	千円		14		15		15	15		15		15	15		
事業費		千円		36,584		41,483		46,215	55,950		52,300		55,508	58,914		
人件費		千円		6,347		4,500		5,077	5,199		5,199		5,199	5,199		
歳出計（総事業費）		千円		42,931		45,983		51,292	61,149		57,499		60,707	64,113		
国・県支出金		千円		17,658		20,073		22,569	25,185		24,347		25,840	27,426		
市債		千円		0		0		0	0		0		0	0		
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円		0		0		0	0		0		0	0		
その他		千円		12,233		11,191		12,600	19,929		13,315		13,812	13,812		
一般財源等		千円		13,040		14,719		16,123	16,035		19,837		21,055	22,875		
歳入計		千円		42,931		45,983		51,292	61,149		57,499		60,707	64,113		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
配食数は利用者数および利用者 1 人当たりの利用日数の増加や、低栄養者や退院後の特別食対応が必要な方等が増加傾向にあることから、前年度91,983食に対し102,400食に増加している（前年度比＋10,417食＋11.32％）。		利用者数は前年度1,002人に対し1,072人に増加（前年度比＋70人）。過去 3 年の実績で増加傾向にある（前年度比＋6.99％）。高齢者数の増加に伴い、介護サービス利用を開始する際の導入、退院直後の食事の安定提供等の目的で今後も利用者の伸びは継続するものと思われる。		【事業費】 高齢者人口や一人暮らし高齢者の増加により配食数が増加したことに伴い、増加した。 【人件費】 令和6年度実績では、本事業の運用方法について、より詳細な分析・検討を行い要綱改正等を実施したこと、また、委託料及び利用者負担額が令和7年度から変更となるため、配食事業者及び利用者等へ通知が必要だったことなど、令和5年度以上に事務負担が増加したことから、人件費は5,077千円となり、577千円の増加となった。	

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4

1 規模・方法の妥当性

4 公平性

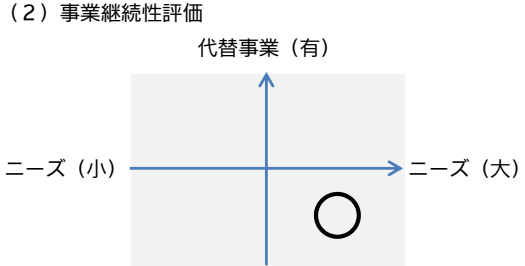
3 効率性

4 活動指標（活動達成度）

5 成果指標（目的達成度）

2 公平性

0



継続	一次評価コメント
継続	配食サービス活用事業は、高齢者数や一人暮らしの高齢者数の増加に伴い需要が増加している。特別食や配達範囲を示した事業所一覧を公表するなど、利用者が事業所を選択できる環境の見直しなども適宜図っており、高まる住民ニーズに対応している。 今後も必要な高齢者に対して適切にサービスを提供できるよう、効率的・効果的な実施方法等について調査検討を行い、これまで同様に事業を実施する。

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		3
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4

1 規模・方法の妥当性

4 公平性

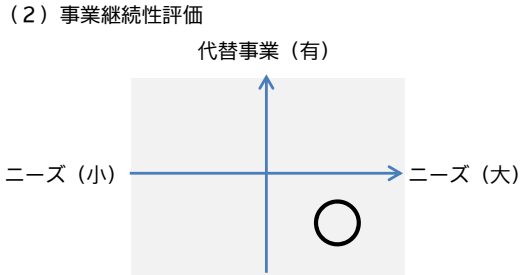
3 効率性

4 活動指標（活動達成度）

5 成果指標（目的達成度）

2 公平性

0



継続	二次評価コメント
継続	令和 6 年度は、配食数、利用者ともに前年度を上回っており、利用者及びその家族から好評を得ているが、それに伴い事業費も増加した。人件費が増加しているが、これは、利用者ニーズの高まりに伴い、配達可能事業所の確保がこれまで以上に必要となるため、事業の運用を見直したことによるものである。 類似の事業を行う民間事業者は存在するものの、利用者の多様な条件に対応しながら安否確認等を含めて行う本事業は公共性が高い事業である。 今後も高齢化社会が進むにつれ、利用者は増加していく見込みであることから、受益者負担等、適正な利用者コストを常に検証しながら、今後においても継続して事業を実施する。

(参考) 令和 6 年度カイゼンのための行動計画